

3 歳時の水疱・浸出症状を経て背部と肘部症状が軽減した小児アトピーの経過 (4 歳 小児)

症例 ID：001-04-ST5

記録日：2017 年 4 月 10 日

1. 診断・治療前経過

3 歳 1 月頃、背部に細かな湿疹が出て、続いて右肘内側に丘疹が出ました。治療を開始し、煎じ薬、外用薬、抗菌薬などを使用しました。詳細は不明ですが、結膜炎やクループなどでステロイドを使用した経過があります。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	結膜炎やクループの治療時にステロイドを使用した経過があります。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
3 歳 1 月頃	発症	背部の細かな湿疹と右肘内側の丘疹が出ました。
その後	治療開始	煎じ薬、外用処置、抗菌薬などを開始しました。
開始約 1 か月半	全身へ拡大	外用薬を 2 日ほど中断した時期に水疱と浸出液が全身へ広がりました。
その後約 2 か月	症状の強い時期	水疱が破れて浸出液が出る状態と外用時の痛みが続きました。
開始約 10 か月	背部軽減	背中 of 細かな湿疹が消え、かゆみもみられなくなりました。
開始約 1 年 3 か月	肘部軽減	右肘内側の出血と丘疹がなくなり、軽いざらつきのみとなりました。
記録時点	全身状態	風邪や咳が減り、便通も整っていました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始約 1 か月半後に水疱と浸出液が全身へ広がり、外用処置時に強い痛みがあった時期です。

5. 困りごと

- 水疱と浸出液が広範囲に出て、外用処置を痛がりました。
- 右肘内側は長期間、掻破と出血を繰り返しました。

6. 経過のまとめ

全身の水疱と浸出症状は約 2 か月で落ち着き、約 10 か月後には背部の湿疹が消失しました。
約 1 年 3 か月後には右肘内側の出血と丘疹もなくなり、軽いざらつきのみとなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。